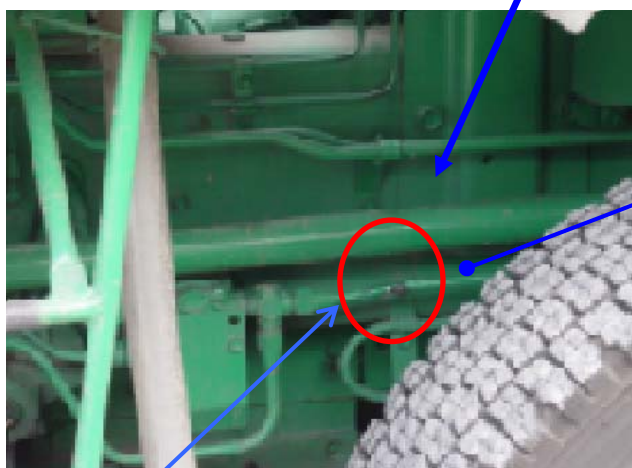


改善箇所説明図



ブレーキパイプ

基準不適合箇所

前2軸車において、ブレーキパイプの形状が不適切なため、スタッドレスタイヤを装着し、ハンドルを最大限度まで切った状態で段差を通過した場合、タイヤが当該パイプと接触することがある。そのため、そのままの状態で使用続けると、接触部分の防錆被膜が剥がれて腐食し、最悪の場合、当該パイプが損傷してエアが漏れ、制動力が低下するおそれがある。

改善の内容: 全車両、ブレーキパイプを対策品と交換する。

識別: モジュールタブラケット上部に白色ペイントを塗布する。

注: は交換部品を示す。